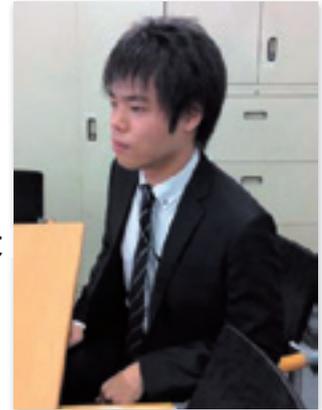


新人職員の本音トーク



黒木 禎啓 — 保険局調査課 — 北嶋 晋大



平成27年数理職入省、保険局調査課配属の黒木です。

同年秋入省、同じく数理職の北嶋です。今日はよろしくお願ひします。

さっそくだけど、北嶋君ってどうして厚労省を志望したの？

いきなりですね…。僕はもともと経済系の院を出ていて、賃金の動向に興味があったんですよ。

なるほど。経済系の院でも数理って入れるんだね。

試験区分で数理を選んだら、学部や大学院はどこでも関係ないみたいですね。

へえ。ちなみに、一番興味のある部局はやっぱり？

労働系ですね。雇用統計はかなり興味を惹かれます。

でも、今は厚生系の保険局だよな？ 配属を聞いたときどう思った？

正直に言えば少し残念でしたけど、厚生も大切な分野ですし、配属されてから色々と学ぶことが多くて充実しています。

俺も入ってから保険制度とか学んだな。初めは分からないことだらけだったけど、今は保険制度について少し詳しくなったよ。とは言っても、新しい業務を任されるたびに知らないことがあるし、いつまでも勉強し続けている気がするな。逆に、だからこそやりがいがあるとも言えるけどね。

それは分かります。配属も大体2、3年で変わるって聞いていますし、『入る前から必死で学んでおく』ってよりは、『入ってから学ぶ』って感じですよな。

そうやな。あ、でも学生の頃、趣味でExcelのマクロとか触っていたけど、今の職場でかなり役に立っているな。制度についてももちろん知っている方が良いし、どちらかといえば『入るまではしたいことを勉強する』ってこと感じやな。

ずいぶんざっくりしてますね。

ほら、やっぱり実際に業務をしてみないと雰囲気は伝わらないと思うんだ。

僕も厚労省のインターンに参加したときは、色々驚きましたね。パソコン業務ばかりかと思っていましたが、電話対応や幹部への説明、さらには国会業務のような事務系の仕事も数理職でも行うんだ、って。

そこは『総合職』って実感するところだよな。

そういえば、たくさんすることがあるって話ばかりしていますが、お休みとかちゃんと取れていますか？

それは、もちろん。月一の有休取得が推奨されているし、毎週水曜と金曜は、定時退庁推奨日だからね。ちなみに、俺は有休を使い切る予定です。

それはいいですね。あ、そんなことを話している間にもうそろそろ終わりそうです。最後にこれを読んでくれている人へ伝えておくことって無いですかね？

それはもちろん

『厚労省数理職と一緒に働くあなたをお待ちしています!』